

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (東播海域 18 号)

2023年 3月14日発行  
 兵庫のみ研究所

海域東部では、小型珪藻のスケルトネマ、ニッチアが確認されます。海域西部では、ニッチア、キートセロスは確認されていますが、発生量は少ない状況です。窒素は、鋼管漁場で4~6  $\mu\text{g-at/L}$ 台、新漁場で概ね1~2  $\mu\text{g-at/L}$ 台、二見漁場以西では陸水等の影響がみられる漁場地先で概ね1~2  $\mu\text{g-at/L}$ 台、その他の海域で1  $\mu\text{g-at/L}$ 以下の値となっています。

(水温) 漁場内平均10.5 $^{\circ}\text{C}$ 。昨年比1.4 $^{\circ}\text{C}$ 、平年比0.6 $^{\circ}\text{C}$ ともに高い。(塩分) 平均32.47psu。前回(32.61)より0.14psu低い。  
 (栄養塩、珪藻) 林崎~魚住漁場では、小型珪藻のスケルトネマが(海水1mLあたり)100~300細胞確認されたが、細胞色素は薄く活力は低いと思われる。二見漁場以西では、ニッチア、キートセロスは確認されるが、発生量は少ない。また、海域西部で見られていたユーカンピアの発生量は、大きく減少していた。各海域のユーカンピア発生量(海水1mLあたり)は、林崎~別府漁場で0~1細胞(前回値:0~2細胞)、高砂~伊保・白浜漁場で10~30細胞(前回値:70~150細胞)であった。  
 加古川河口では、陸水等の影響により窒素の値が高くなっていた。

	前回値	今回値	平年値	昨年値
水温	10.0	10.5	9.9	9.1
窒素	2.5	2.4	3.1	2.0
リン	0.38	0.38	0.29	0.24

(3/6) (3/11)

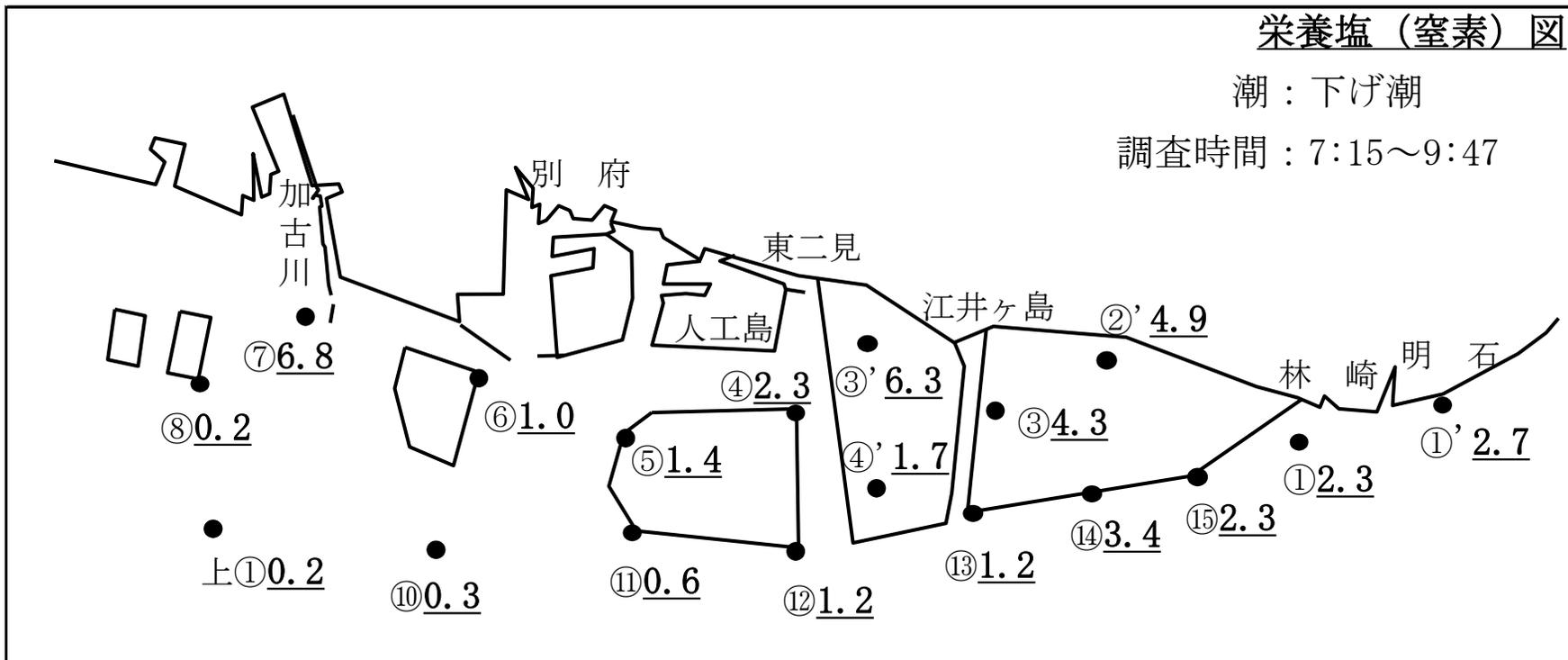
西播地先					
伊保 地	水温	10.9 $^{\circ}\text{C}$	伊保 沖	水温	10.8 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.3		窒素	0.2
	リン	0.21		リン	0.19
白浜 地	水温	10.8 $^{\circ}\text{C}$	白浜 沖	水温	10.8 $^{\circ}\text{C}$
	窒素	0.3		窒素	0.2
	リン	0.22		リン	0.20

2023年 3月14日調査

## 栄養塩 (窒素) 図

潮：下げ潮

調査時間：7:15~9:47



## 水温図

